

19 広報関係

(1) プレスリリース（平成25年度）

組織名 年月日	プレスリリースの内容
東 北 育種場 H25. 4. 19	タイトル 高田松原の松苗木が地元「高田松原を守る会」へ里帰り 高田松原の実生苗約300本を「高田松原を守る会」へ引継ぎすることをプレスリリースした。 （要旨） 東日本大震災以前の平成22年10月頃に、住田町にお住まいの方が高田松原で集めていた松ぼっくりから採取した種子より育苗された苗木約600本について、「高田松原を守る会」から自らの力で育てたいとの要望を受け、24年5月に約300本引き継いでいた。この度、残り約300本についても同様に引き継いだ。
東 北 育種場 H25. 6. 18	タイトル 陸前高田市「奇跡の一本松」後継樹の現状について（報告） つぎ木4兄弟及び奇跡の一本松の実生苗の6月時点における生育状況についてプレスリリースした。 （要旨） 東日本大震災の津波を生き残った奇跡の一本松の後継樹「つぎ木4兄弟」と一本松の実生苗について、6月12日時点での生育状況とともに、今後の管理の方向性について公表した。
森林総合 研究所本 所・東北 支所・東 北育種場 合同	タイトル （独）森林総合研究所東北支所及び林木育種センター東北育種場と東北森林管理局との協定による仙台海岸林再生のためのクロマツコンテナ苗導入試験の開始について 海岸林再生のため、3機関が協定を締結してクロマツコンテナ苗の植栽試験を実施することをプレスリリースした。 （要旨） 被災した海岸林再生にクロマツコンテナ苗を活用することにより、植栽時期の拡大や生存率の向上、植栽作業の平準化等のメリットがある。また、東北地方産のみでは不足することが考えられることから、西日本産の抵抗性クロマツ苗の導入試験も実施する。これらクロマツコンテナ苗の可能性を明らかにするための3機関で協定を締結し上記試験の実施にあたる。
東 北 育種場 H26. 2. 28	タイトル マツノザイセンチュウに強いアカマツ・クロマツ16系統開発しました マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ1系統、抵抗性クロマツ15系統を開発したことをプレスリリースした。 （要旨） 今年度の優良品種評価委員会の承認を経て、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ1系統、抵抗性クロマツ15系統がマツノザイセンチュウに抵抗性を持つ品種として開発された。
東 北 育種場 H26. 2. 28	タイトル エリートツリー（スギ第2世代精英樹）9個体を開発しました 東北育種基本区初となるスギエリートツリーが決定したことをプレスリリースした。 （要旨） 東北育種場で第一世代精英樹同士を交配したものから、材質や通直性、植栽後の初期成長に優れたスギエリートツリー（スギ第二世代精英樹）を9個体開発した。
関 西 育種場 H25. 7. 5	タイトル：森林とのふれあい2013関西育種場・一般公開 一般公開行事「森林とのふれあい2013」の開催予定についてプレスリリースした。 （要旨） 一般公開行事「森林とのふれあい2013」について、日時、場所及び内容等の開催案内を行った。
関 西 育種場 H25. 9. 26	タイトル：オープンラボ オープンラボの開催予定についてプレスリリースした。 （要旨） オープンラボについて、日時、場所及び内容等の開催案内を行った。
関 西 育種場 H26. 3. 4	タイトル：岩出市指定天然記念物「根来寺の枝垂れ桜」の後継樹苗木が里帰り 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 「根来寺の枝垂れ桜」は、推定樹齢300年以上を数える古木で古くから地域の守り神のように親しまれており、昭和62年9月14日には岩出市により天然記念物に指定されたが、平成10年の台風で幹の半分ほどが折れ、樹勢回復治療や周辺の環境整備等を行い、保護・管理が行われてきた。 こうした中、平成24年7月に当育種場に後継樹苗木の育成について要請があり、「根来寺の枝垂れ桜」が貴重な樹木であることから、平成25年2月に親木から枝（穂木）を採取し、後継樹育成のためつぎ木増殖を試みてきた。 その後、増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがついたので、「里帰り」させることとした。